

科目	物理	学年	第3学年	開講	通年	選択	5単位
----	----	----	------	----	----	----	-----

教科書： 数研出版 物理
副教材： 数研出版 リードα物理

1 学習の到達目標

医学部受験の問題を解く力を養う。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考査	評価の観点		
							a	b	c
前期	電磁気	電磁誘導と電磁波	電流と磁場	・電場との類似点/相違点を考える	4	中間④	○	○	○
			電磁誘導とローレンツ力	・磁場中の電流/電荷の振る舞いを捉える			○	○	○
			誘導起電力とエネルギー	・様々な仕事からエネルギーを考える			○	○	○
			自己誘導と相互誘導	・変化を打ち消そうとする視点をを用いる			○	○	○
			交流とコイル・コンデンサ	・正弦波のグラフを中心に理解する。	○	○	○		
	原子	電子と光	電磁波	・日常で用いる言葉の意味を正しく捉える	6	期末⑦	○	○	○
			電子と電場・磁場	・電場中の電子の動きを詳しく考える			○	○	○
			光の粒子性と光電効果	・光の持つエネルギーについて理解する			○	○	○
			X線の波動性と粒子性	・X線の振る舞いを2つの側面から考える	7		○	○	○
			粒子の波動性	・ド・ブROI波長の考え方を理解する			○	○	○
前期 授業評価									
後期	原子	原子と原子核	原子の構造とボーアの理論	・化学での学びを用いて理解を深める	9	学年末⑫	○	○	○
			α/β 崩壊と半減期	・放射線とは何かについて理解する			○	○	○
			質量欠損と $E=mc^2$	・質量とエネルギーの理解を深める			○	○	○
			核反応と原子力発電	・質量の減少が何を示すか考える			○	○	○
			素粒子	・素粒子についての理解を深める	10	○	○	○	
	復習	復習	力学	・全範囲の復習を通して基本事項の定着と典型問題の解答力を身につける ・実際の入試問題を解くことができる ・進学先の問題分析を各自で行い、効率よく得点率をアップさせる		11	○	○	○
			熱				○	○	○
			波動		○		○	○	
			電磁気		○		○	○	
	演習	入試演習	原子	・共通テストの解き方に慣れる ・典型問題を落とさずに解ききる	12	○	○	○	
			共通テスト対策			○	○	○	
			二次試験向け対策			・進学先の問題分析を各自で行い、効率よく得点率をアップさせる。	1	○	○
後期 授業評価									

3 評価の観点

暗記すべきことが覚えられたか。/平易な計算問題を解くことができたか。/難度が高めの問題を解くことができたか。これらを試験の得点率によって評価する。また折に触れて提出物を求め、これを学習に取り組む姿勢として評価する。理解度に応じて、上記の進行予定は変更することがある。